



笑日韓論

新書判並製／ページ数：224ページ／定価：900円＋税

韓国語学者 **水野俊平** (みずの・しゅんぺい) 著

1968年生まれ。韓国語学者。高校時代に韓国に興味を持ちはじめ、当時としては珍しい韓国・朝鮮語を学べる天理大学外国語学部朝鮮学科へ進学。同大学を卒業後、韓国・全南大学校大学院国語国文学科に学び、博士課程修了。同大学講師を経て、現在は北海商科大学教授。16年間にわたる韓国在住時では、韓国各局のテレビ番組にレギュラー出演し、「全羅道方言をしゃべる日本人学者」として大ブレイク、「韓国で一番有名な日本人」となった。ところが、著書『韓国人の日本偽史』（小学館）の中に日本の右翼的な歴史認識に立った記述があると韓国で報じられ、強烈的なバッシングを受ける。失意の中、2006年に韓国人の妻と3人の息子とともに故郷・北海道へ戻る。しかし、その後は心機一転、韓国語を教授するかたわら、研究活動に精力的に励んでいる。著書に『韓国の若者を知りたい』（岩波書店）、『韓国の歴史』（河出書房新社）、『韓 VS 日「偽史ワールド」』（小学館）など多数。

嫌韓ブームに終止符を打つ!? 「韓国で一番有名な日本人」だった著者が、 ついに八方塞がりな日韓関係に物申す!

◆——「嫌」「呆」「無」ではない、第三極から見た日韓論——◆

本書は、韓国学を専攻し、韓国に16年住み、日韓の歴史はもとより、両国の市井の人々の暮らしを熟知している稀有な学者・水野俊平氏が、親韓・嫌韓ではなく「笑韓」という第三極の立ち位置から世に訴える、時代の間隙を突いた日韓論です。

- ◎ 韓国にはトンスルという人糞酒がある
- ◎ 韓国人のペニス是世界一小さく9センチしかない
- ◎ 日本女性が着る着物の帯は、男の求めに応じて地面や床に敷き、性行為に応じるためのものである
- ◎ 北野武、美空ひばりは在日……etc.

日韓間に溢れる俗説にはバカバカしいものがじつに多い。結局、日本人は日本に、韓国人は韓国に耳当たりのよい情報を収集するからでしょう。自分の国家観を堅固にするために情報を集め、集めれば集めるほど相手国への苛立ちや憎しみも肥大させています。おそらく、昨今ブームになっている嫌韓本も一役買っているはずですが。

しかし、本書はそれらと一線を画します。意図的に韓国を、あるいは日本を貶めたり、持ち上げたりする本ではありません。本書では、日韓間にはびこる数多くの言説について徹底検証し、昨今の日韓関係に関するさまざまな事象をどう見るべきなのか、そして、個々人が日韓の間にある問題をどう捉え、どう対処すべきなのかを述べていきます。

【目次】

はじめに——「嫌」「呆」「無」であるくらいなら、互いを「笑」え

第1部 日韓関係の不都合な現実

第2部 徹底検証！ねじ曲げられた真実

第3部 日韓問題を語るための作法

あとがき——真実は日韓の中間にある

本書のテーマや著者に共感、関心いただけましたなら、書評や著者への取材など、本書のパブリシティへのご協力をお願い申し上げます。

フォレスト出版株式会社

編集部 石黒

〒162-0824

東京都新宿区揚場町2-18 白宝ビル5F

TEL：03-5229-7792

mail：ishiguro@forestpub.co.jp